

2021 年度第 1 四半期業績発表

2021 年 5 月 10 日

エボニック、好調な第 1 四半期を受け通期業績への期待を高める

- ・ 2021 年度業績見通し: 調整後 EBITDA (税引き前利益 + 支払利息 + 減価償却費) は 21 億ユーロから 23 億ユーロの見込み
- ・ 第 1 四半期の売上高は 4% 増、調整後 EBITDA は 15% 増
- ・ フリーキャッシュフローは約 3 倍の 3.12 億ユーロに増加

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:エッセン)は好調な第 1 四半期の業績を受け、通期の収益についてより積極的な見通しを示しています。第 1 四半期は、世界的な需要増と販売価格の改善により、売上高および利益が増加しました。3 つの成長部門であるスペシャルティアダティブス、ニュートリション&ケア、スマートマテリアルズが主な原動力となり、大幅な成長を示しました。

取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「大変良いスタートを切れたことで、本年度通期に対し、より楽観的な見通しを立てることができました。収益については、対前年比で増加しただけでなく、パンデミック前の 2019 年の水準も上回ることができました。当社の成長戦略の効果が表れています」と述べています。

2021 年の調整後 EBITDA (税引き前利益 + 支払利息 + 減価償却費) は、21 億ユーロから 23 億ユーロの間を見込んでいます。当初の予測範囲の下限は 20 億ユーロでした。2020 年の調整後 EBITDA は 19.1 億ユーロでした。年間売上高については、120 億ユーロから 140 億ユーロの間での見通しを維持しています。2020 年の売上高は 122 億ユーロでした。

第 1 四半期の調整後 EBITDA は、2020 年同期比 15% 増の 5.88 億ユーロ、2019 年第 1 四半期比においても、9% 増となりました。

年初 3 か月の売上高は、前年の第 1 四半期比 4% 増の 33.6 億ユーロ、調整後純利益は 32% 増の 2.39 億ユーロとなりました。

またフリーキャッシュフローは、業績の向上、正味運転資本の厳格な管理、納税額の減少などにより、約 3 倍の 3.12 億ユーロに増加し、パンデミック前の水準である 2019 年第 1 四半期の 1.59 億ユーロも上回る結果となりました。

最高財務責任者(CFO)のウテ・ヴォルフ(Ute Wolf)は、「第 1 四半期のフリーキャッシュフローは、2013 年の株式市場上場以降、最も好調でした。フリー

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

キャッシュフローの成長に明確に焦点を当てたことが功を奏しています」とコメントしています。

事業部門ごとの業績

スペシャルティアダティブス: 第1四半期の売上高は、前年同期比6%増の9.07億ユーロとなりました。コーティング業界向けの添加剤の需要は全地域で大幅に増加し、売上を大きく押し上げました。耐久消費財の需要増加にともない、マットレスや冷蔵庫などに使用されるポリウレタンフォーム用添加剤の売上も増加しました。また、建設業界向けの添加剤の需要は引き続き堅調に推移しました。再生可能エネルギー製品は、特にアジアで大幅な需要拡大が見られました。調整後 EBITDA は14%増の2.73億ユーロとなりました。

ニュートリション&ケア: 第1四半期の売上高は、前年同期比4%増の7.8億ユーロとなりました。必須アミノ酸は安定した売上を維持しました。ヘルス&ケア分野の製品は好調な需要に支えられました。特に、化粧品用のアクティブ原料は引き続き好調に推移しました。調整後 EBITDA は、販売価格の上昇と積極的なコスト管理により、21%増の1.43億ユーロに改善しました。

スマートマテリアルズ: 第1四半期の売上高は、前年同期比6%増の9.09億ユーロとなりました。無機製品では、タイヤ用シリカが世界的な景気回復の恩恵を受けました。また、衛生・ケア製品や環境用途向けの需要も引き続き堅調に推移しました。触媒事業では、2020年11月に買収したポロセル (Porocel) 社の売上が加わりました。高機能ポリマーは、自動車業界からの需要が好調でした。また、ポリアミド12パウダーの売上も増加しました。調整後 EBITDA は4%増の1.73億ユーロとなりました。

パフォーマンスマテリアルズ: 第1四半期の売上高は、前年同期比1%減の5.8億ユーロとなりました。C4-統合生産品は、需要の増加と販売価格の上昇により売上高が増加しました。高吸水性樹脂は、悪天候による生産量の減少の影響を受けました。調整後 EBITDA は、1,800万ユーロから4,200万ユーロに増加しました。

エボニック・グループ: 損益計算書(抜粋)

(単位: 百万ユーロ)	第1四半期		
	2020	2021	増減(%)
売上高	3,243	3,358	4
調整後 EBITDA	513	588	15
調整後 EBIT	273	336	23
調整	-26	-28	
純金融費用	-50	-21	
税引前利益(継続事業)	197	287	46
法人税等	-57	-88	
税引後利益(継続事業)	140	199	42
税引後利益(非継続事業)	-6	-7	
税引後利益	134	192	43
非支配持分	4	6	
当期純利益	130	186	43
調整後当期純利益	181	239	32

各事業部門の業績(第1四半期)

(単位: 百万ユーロ)	売上			調整後 EBITDA		
	2020	2021	増減(%)	2020	2021	増減(%)
スペシャルティアディティブス	852	907	6	239	273	14
ニュートリション&ケア	748	780	4	118	143	21
スマートマテリアルズ	858	909	6	166	173	4
パフォーマンスマテリアルズ	584	580	-1	18	42	133
テクノロジー&インフラストラクチャー	184	169	-8	34	29	-15
その他事業	17	13	-24	-62	-72	-16
グループ全体	3,243	3,358	4	513	588	15

エボニック・グループの事業部門別従業員数

	2020年	2021年
	12月31日	3月31日
スペシャルティアディティブス	3,666	3,678
ニュートリション&ケア	5,295	5,281
スマートマテリアルズ	7,874	7,783
パフォーマンスマテリアルズ	1,639	1,810
テクノロジー&インフラストラクチャー	8,870	8,510
その他事業	5,762	5,683
グループ全体	33,106	32,745

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2020年度は、122億ユーロの売上、19.1億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、33,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2020年度は、28.7億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2021年5月6日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)